

令和3年度全国学力・学習状況調査について

本日、令和3年5月に実施しました、全国学力学習状況調査の「調査結果個人票」をお渡しいたします。本校の結果概要については次の通りです。

<教科の調査結果> 設問全体、各領域は、国語・算数とも、県と全国を上回る正答率となっています。

教科	(数字は正答率)	本校 (%)	神奈川県 (公立) (%)	全国 (公立) (%)
国語	設問全体	74.0	63.0	64.7
	A 話すこと・聞くこと	89.0	78.9	77.8
	B 書くこと	67.1	58.3	60.7
	C 読むこと	61.6	46.7	47.2
算数	設問全体	77.0	70.0	70.2
	A 数と計算	67.4	62.2	63.1
	B 図形	66.7	57.3	57.9
	C 測定	79.7	74.7	74.8
	C 変化と関係	83.1	76.6	75.9
	D データの活用	84.1	77.1	76.0

◎調査内容について

【国語】○「話すこと・聞くこと」の本校の正答率は、80%を超える高い数値でした。目的に応じ、構成を考えながら話すことや、他者の話をしっかりと聞く姿勢をこれからも大切にしていきます。

- 「読むこと」の本校の正答率は、県、全国よりも上回っているものの、全体では60%台と低い数値でした。特に、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」については、44.3%の正答率でした。文章中に用いられている図表が、文章のどの部分と結びつくのか明らかにし文章と図表の関係をとらえて読むことで、必要な情報を取捨選択できる力の向上を、図っていききたいと思います。

【算数】○「データの活用」の本校の正答率は、80%を超える高い数値でした。複数データの比較や必要なデータを収集する力は、これからの社会に必須のものです。引き続き、この力を伸ばしていきます。

- 「図形」の本校の正答率は、県、全国よりも上回っているものの、全体の中では低めの結果となっています。特に、三角形の面積を求める設問の正答率が低い数値でした。既習事項を適時振り返り、基礎基本の定着を図っていききたいと思います。

<生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査>より

【質問】「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉であらわすことができますか。」

- ・肯定的回答 78.8%

【質問】「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」

- ・肯定的回答 71.3%

【質問】「友達と協力するのは楽しいと思いますか。」

- ・肯定的回答 88%

○上の質問の回答結果から、考えや思いを表現することや工夫して考えを伝えることについては、進んで取り組んでいる児童が、概ね多いことが分かります。考えを伝え合い分かり合うことが、友達との協力にもつながります。このよさを引き続き様々な活動に生かしていききたいと思います。

【質問】「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」

- ・肯定的回答 52.6% ・否定的回答 23.9% ・持っていない 23.8%

●いわゆるICT機器の活用については、これからますます幅が広がっていくと考えられます。同時に、トラブルに巻き込まれないよう一定のルールも必要です。今後も、ご家庭での使用ルールの確認やフィルタリング等の対応をお願いします。

【質問】「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」

- ・肯定的回答 58.8% ・否定的回答 41.3%

●物事を順序良く進め、確実に目的を達成しようとする姿は、日常の学校生活の中で見られます。経験のない新しい活動や高い目標を設定した物事にも挑戦していこうとする姿勢を大切にしながら、より安心して取り組めるような指導・支援を心がけていききたいと思います。

※なお、「新型コロナウイルス感染拡大で休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったときは、どのようにしていましたか。」という質問に対しては、「家族に聞いた」「自分で調べた」という回答が、多数を占めました。自ら学ぼうとする意欲を支えてくださったご家庭での協力に、心より感謝申し上げます。